

医療センター クラーク

B1/2

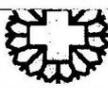
患者様はパートナーです

100 ガトウィックゲートウェイ、サバアルアフマドグローバルゲートウェイ、工業団地
工業団地 5、クラーク2023 自由港区域、フィリピン、フィリピン

臨床要約/退院概要)

患者名	吉岡 勲	誕生日	1942年3月15日	年	81	性別	男	暗証番号
苗字	ファーストネーム	ミドルネーム	月 日 年					
主治医	アングロノ パラゾ	入院日	2023年8月21日	退院日		2023年09月15日		
照会医師	ルグトウ博士、ラクサマナ博士、マガヤネス博士、または、ジェネロソ、オル。ガルシア、または、タブ) アンテ、または、ヒゾン							
入院理由	気胸水腫。							
臨床歴概略	患者は以前、市中感染肺炎の高リスクとして診療され、外来患者として治療されていた。しかし、昨年8月7日、偶然、転倒/右胸を打撲。8月8日、感覚の低下と呼吸困難を観察。ER(救急治療室)での治療を行う。暫定的に、AUFのICU(集中治療室)にて、胸腔チューブ胸腔挿入術挿入の状態監視。TMC医療センター、クラークへの移管を決定。 重要な身体的およびその他の所見 BP=100/60mmHg PR=65bpm RR=20cpm TEMP=36.7°C SpO2=97% HT=5'6"ft. WT=80kgs。 患者は意識がはっきりしており、一貫して呼吸困難の状態。 桃色がかった眼瞼結膜、扁桃咽頭のうっ血なし、頸部病変なし。 胸郭の非対称拡張、肺の退縮・澄んだ呼吸音なし、 前胸部は弱く規則的なリズム、肺雑音なく力強さを欠く。 腹部の圧痛はなく、腸音は正常に活動的である。 脈拍は正常で等間隔、チアノーゼ《血液中の酸素欠乏のため皮膚や粘膜が暗紫色になる状態》なし、目立った浮腫なし。							
診断(一次診断)	■ 退院		□ 最終		最も近い ICD-10 コード			
発作性心房細動;駆出率が維持された心不全;拡張した上行大動脈瘤;下肢の表面血栓症。起立性高血圧症;院内感染による肺炎;肋骨骨折;肺高血圧症;慢性閉塞性肺疾患。								
重要な診断/併存疾患(二次診断)	最も近いICD-10コード							
オペレーション/S:	造影剤を使用した胸部 CT スキャン							
手術の日付:	08/25/2023							
実行された手続(全部の詳細については、添付の検査フォームを参照)								
血液検査	:CBC with Pit.,Crea.Na,K.Procal.Albumin,iCa.SGPT/ALT.SGOT/AST,I-STAT E7,血中CSx2sites、Mg、NT-roBNP、総カルシウム、TPAG							
尿検査	:尿検査、尿GS、尿CS:胸部X線 AP モバイル。							
画像検査	移動式前後胸部X線、造影剤を使用した通常の胸部 CT スキャン、12LECG、24 時間。 14 ホルターモニタリング:							
その他、指定してください	糞便免疫化学検査、糞便分析、総 IgE、Covid-19 抗原、RT-PCRTest、動脈血ガス (ABG) 検査							
重要な薬剤およびその他の治療手順								
IVF(Intravenous Fluid)	:PNSS1L×60cc/hr.							
薬	: リクシアナ 30mg 錠、パントプラゾール 40mg 錠、カルトレート タブ、フルコナゾール 200mg 錠、ルメペネム lg IV、ピソプロロール 2.5mg 1/2 錠、ムコスタ 100mg 錠、ヘマレート FA 錠、セフェピム 2g IV、モキシフロキサシン 400mg 錠。、KCL 錠、アルブミン 25%、トラマドール 25mg IV、バラセタモール 500mg 錠、エドキサパン 60mg 錠、フロセמיד 20mg IV、スピロノラクトン 25mg 錠、フルコナゾール 200mg IV、ドゥアベントネブ、スピオルト パフ、ネフロステリル、ソルコルテフ 100mg IV							
維持薬	: トリメタジジン、クレストール 5mg タブ。OOHS、クロピドグレル 75mg タブ。 OD、ペリンドプリル 10mg タブ。 OD、メマンチン 10mg 2 錠。 OD、ラビダ 25mg タブ。 TID、シルデラフィル、モンテルカスト 10/5mg タブ。 OD、レビドパ+カルビドパ 100/25 1/2 タブ。 TID、ラクツロース 30cc ODHS、カラミン+酸化亜鉛 BID、N-アセチルシステイン 600mg タブ。一日二回							
病棟内のコース(予定)								

この翻訳は出来る限り原文に基づいて正確に行いました。
通訳・翻訳ボランティア チーボ代表 宮本努
2024年1月3日



医療センター

患者様はパートナーです

クラーク

100 ガトウィックゲートウェイ、サバアルアフマドグローバルゲートウェイ、工業団地
工業団地 5、クラーク2023 自由港区域、フィリピン

2023年08月21日 - 入院後、受け入れと管理のための同意がされました。患者はPNSS1Lx60cc/hrに装着されました。検査および診断が行われました。胸部胸腔チューブ(CTT)の出力が記録されました。Dr. Lugtu, Dr. Magayanes, Dr. Lacsamana, およびDr. Generosoに紹介され、共同管理が行われました。経鼻胃(NG) 経管栄養でニュートリベストを続けられました。Spioflo 2 pillsは1日1回開始されました。Sildenafilは保留中です。生命兆候は4時間ごとに監視されました。Dr. Lacsamanaによって診察されました。目を覚まし、苦痛はありません。正常な右側の波動を伴うCTT出力が確認されました。CTT クランプが外されました。Dr. Lugtuによって診察されました。すべての抗高血圧薬は保留されました。LixianaタブレットとCrestorタブレットは継続されました。Clopidogrelタブレットは保留中です。アルブミン25%が2時間ごとに開始され、6回分が指示されました。アルブミン投与後、Furosemide IVが12時間ごとに投与および指示されました。Spironolactoneタブレットを昼食時に1日1回投与。Pantoprazoleタブレットは朝食前に1日1回投与、Caltrateタブレットは1日2回投与、IVFは40cc/hrに減少。30から45度の適度な高い背もたれを保ち、厳格な誤飲予防の指示。傷口のケアと除去が行われた。CTTの8時間ごとの監視が継続されました。

2023年08月22日 - Dr. Bacani当直医によって診察および検査されました。無気力で無関心、心肺の苦痛なし。呼ばれると見る反応があり、胸痛、動悸、呼吸困難はない。経鼻胃(NG) 経管栄養でニュートリベストは許可。泌尿器科および消化器系の苦痛なし。摂取と排出のモニタリング、CTTは継続。尿CSの結果の確認。感染症の専門医であるDr. Magayanesを紹介。Fluconazole Iを開始され、1日2回の指示。血液CSx2sitesと尿GSCSを実施。膀胱カテーテルの交換の指示。患者は覚醒し、会話ができます。無熱で、咳と痰が減少。酸素は鼻の管を介して1LPMに減少しました。Montelukastは中止されました。Serum IgEが行われました。前の施設での入院から開始された14日間のImepenem IVの完了を指示。Fluconazole IVは継続。Solu-Cortefを投与されそのあと中止を指示。Dr. Generosoによるリハビリのための診察と検査があり、リハビリが指示された。特に問題は発生せず。下肢の浮腫が減少し、上肢の浮腫が指摘されました。X線胸部の結果が伝えられ、アルブミンとFurosemideは継続され、6回分が指示されました。24時間ホルターモニタリングが行われました。

2023年08月23日 - Furosemideを服用中にKCL錠剤の服用が開始されました。患者はリハビリのために診察および治療されました。特に問題は発生せず。血圧が伝えられ、Furosemideは保留されました。良好な呼吸音が確認されました。N-Acetylcysteineの投与が1日1回に減少しました。胸部チューブのボトルの交換が指示されました。

2023年08月24日 - 胸部チューブの詰まりの除去。浮腫が減少が確認されました。Bisoprolol錠剤が1日1回半錠で開始されました。点滴IVFは20cc/hrに減少。新しいリハビリの指示があり、患者はリハビリのために診察および治療されました。特に問題は発生せず。KCLタブレットは1日3回、6回分指示されました。Caltrateタブレットは1日2回続けられました。飽和度の低下は指摘されませんでした。管理は続けられました。採血によりPlt, K, Crea, Ca, Na, Procalの全血流計算がされました。移動式X線胸部が再度実施されました。

2023年08月25日 - 麻酔計画が説明されました。同意が確認されました。利尿薬は保留されました。点滴IVFは40ccに増加されました。造影剤を使用したCTスキャンが実施され、結果は良好でした。リハビリのために患者が診察および治療されました。特に問題は発生せず。

2023年08月26日 - 患者はリハビリのために診察および治療されました。特に問題は発生せず。X線胸部が変更され、尿GSが行われました。Fluconazole IVが1日1回の錠剤に変更され、14日間服用するように指示されました。thorametrixに変更されました。

2023年08月27日 - 24時間ホルターモニタリングの結果が確認されました。Nephrosterilが指示されました。Spironolactoneは中止されました。Lixianaは2日間保留されました。新しいリハビリの指示がありました。

2023年08月28日 - 患者はリハビリのために診察および治療されました。特に問題は発生せず。Bisoprololは保留されました。点滴IVF速度は60ml/hrに増加されました。

2023年08月29日 - 患者はリハビリのために診察および治療されました。特に問題は発生せず。X線胸部および尿CSの結果が確認されました。外科への紹介が行われました。CTT胸部胸腔チューブの詰まりを解消。胃腸の診断のためにDr. Tablanteを紹介。Mucostaタブレットが1日3回服用されました。便潜血検査(FOBT)が実施されました。

2023年08月30日 - CTT胸部胸腔チューブからの出力が確認されました。呼吸困難はありませんでした。リハビリは継続。Hemarateタブレットの服用が1日1回開始されました。特に問題は発生せず。Procal, SGPT(血清グルタミン酸-ピルビン酸トランスアミナーゼ) および SGOT(血清グルタミン酸-オキサロ酢酸トランスアミナーゼ)の血液採取が行われました。

2023年08月31日 - 患者はリハビリのために診察および治療されました。特に問題は発生せず。便潜血試験のために消化器科の診察および検査が行われました。Paritpazoleタブレットを1日2回に増やしました。投薬は継続されました。Dr. HizonがDr. Lugtuの代わりを務めました。

2023年09月01日 - 患者はリハビリのために診察および治療されました。特に問題は発生せず。抗生物質の完了が指示されました。胸部チューブが取り外されました。チューブの取り外し後、X線胸部が行われました。インセンティブスパイロメトリが開始されました。Stool FIT(便免疫化学検査)テストが行われました。

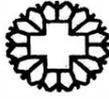
2023年09月02日 - 鎮痛薬が要請されました。痛みのためにトラマドールIVが投与されました。N-Acetylcysteineは1日1回に減らしました。退院計画が確認されました。リハビリのために患者が診察および治療されました。特に問題は発生せず。Bisoprololタブレットが再開されました。パラセタモールIVが投与されました。パラセタモールタブレットが体温が37.5度を超える場合に6時間ごとに指示されました。Cefepime IVの8時間ごとの投与が開始されました。

2023年09月03日 - 患者はDr. Lugtuに戻されました。Blood CSx2sites(血液検査2か所)、CBC全血流計算 with Plt(血小板)、Procal, Na, K, Crea, 尿検査Urinalysisおよび尿培養が行われました。

2023年09月04日 - 患者はリハビリのために診察および治療されました。特に問題は発生せず。

2023年09月05日 - 心血管薬物は指示通りに継続されました。患者はリハビリのために診察および治療されました。特に問題は発生せず。新しいリハビリの指示がありました。

2023年09月06日 - 患者はリハビリのために診察および治療されました。特に問題は発生せず。パントプラゾールは1日1回に減らしました。



医療センター

患者様はパートナーです

クラーク

100 ガトウィックゲートウェイ、サバアル アフマド グローバルゲートウェイ、工業団地
工業団地 5、クラーク2023 自由港区域、フィリピン、フィリピン

BZ

2023年9月7日 - 便適合性テスト、Pit、Na、K、Crea、プロカルを含む CBC を実施。ヘマレートFAは保留。新しいリハビリ実施。患者はリハビリのために治療を受けました。問題のあることは起きませんでした。血液 CS および尿 CS (培養感受性検査) の再検査が確認されました。24 時間ごとのモキシフロキサシン錠剤を開始し14日まで続ける。セフェピムは保留されました。

2023年9月8日 - 患者はリハビリのために診察を受け、治療を受けた。問題のあることは起きませんでした。ビソプロロールは中止されました。点滴は20cc/hriに減らし、あるものが無くなるまで続ける。

2023年9月9日 - FITテスト (便免疫化学検査) 結果の確認。パントプラゾールとムコスタは継続。「ペリンドプリル」タブは中止。新しいリハビリが実施されました。患者はリハビリのために診察を受けました。問題のあることは起きませんでした。

2023年9月10日 - ネフロスタールは 24 時間継続。

2023年9月11日 - 患者はリハビリのために診察を受け、治療を受けた。問題のあることは起きませんでした。

2023年9月12日 - 患者はリハビリのために診察を受け、治療を受けた。問題のあることは起きませんでした。

2023年9月13日 - ビソプロロールは保留されました。着圧ストッキングを着用。患者はリハビリのために診察を受け、治療を受けた。問題のあることは起きませんでした。

2023年9月14日 - ビソプロロールは中止されました。患者はリハビリのために診察を受け、治療を受けた。問題のあることは起きませんでした。

2023年9月15日 - 患者はリハビリのために診察を受け、治療を受けました。問題のあることは起きませんでした。経管栄養のため患者を自宅訪問し説明。専属看護師に患者の授乳時の準備について説明しました。退院時の適合性を評価しました。自宅用に処方された薬のアドバイス。経過観察の指示が出ました。

サービス			退院時の患者の状態	
X 麻酔	<input type="checkbox"/> OB-Gyne	<input type="checkbox"/> 精神科	<input type="checkbox"/> 逃亡中	<input type="checkbox"/> 回復しました
<input type="checkbox"/> ENT・HNS	<input type="checkbox"/> 眼科	X Surgery	<input type="checkbox"/> DAMA	X 安定している
X 医薬品	<input type="checkbox"/> 整形外科	<input type="checkbox"/> 放射線治療	<input type="checkbox"/> 有効期限切れ	<input type="checkbox"/> 他の病院へ転院
<input type="checkbox"/> 神経内科	<input type="checkbox"/> 小児科	X リハビリテーション医薬品	<input type="checkbox"/> 改善	

記入者

Prepared by:

Angelene Parazo M.D. 10/12/2023

Angelene Parazo M.D., / Sept. 26, 2023 03:21PM

Signature over Printed Name/Date & Time